

# 敦賀舞台「弥生の虹」上映

地元出身 山下監督ら舞台あいさつ



舞台あいさつで、映画製作を振り返る山下大裕監督(左)、濱頭優さん(左から4人目)ら＝敦賀市桜町のきらめきみなと館で

映画製作などを手掛ける「DYCエンターテインメント」(東京)代表の山下大裕監督(ニミ)による自主製作映画「弥生の虹」の上映会が二十七日、出身地の敦賀市のきらめきみなと館であり、来場者は敦賀を舞台にした青春ドラマに見入った。

弥生の虹は、廃校と

なる高校を舞台に、最後の卒業式を迎える三年生の恋愛や友情を描く七十四分の作品。地元の敦賀気比高三年でアイドルや声優として活躍する濱頭優さん(ニミ)らがメインキャストを務め、二、三月に金崎宮や休校した西浦小など市内で撮影した。

上映後の舞台あいさつで、濱頭さんは「演技経験がない中で、皆さんに支えられながら作品を作ることができて本当にうれしい。見た方の心に少しでも温かい気持ちが残れば」と爽やかな笑顔を見せた。山下監督は「お金も、技術も、経験もない中でできたのは敦賀の皆さんのおかげ。いづか商業用映画のロケ地として敦賀で撮りたい」と意気込みを語った。

観賞した敦賀高二年の西本海里さんは「休校を迎える母校の小学校に照らし合わせなが

ら見た。感動したけど、少し寂しくなった」と話した。(古根村進然)